

公表事業所における自己評価結果

事業所名		むかわ町子ども発達支援センター鶴川たんぽぽ	公表日 令和7年3月28日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。		100%	※設定保育の中での関わりのため、教具教材は 使用していない	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		保護者からの意見や評価の結果をもとに、改善すべき点について対策している。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		第三者による外部評価には至っていない。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		職員が積極的に研修を受講できるよう業務の調整を図り、資質向上のための研修機会を確保している。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%		年2回の保護者との懇談の実施や、関係機関とのケース会議を行い、その内容を支援計画に反映させている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%		意向は聞くが、保護者と共有している意向の方に重きを置いている	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		保護者やこどもからの聞き取りや観察、心理士や保健師、関係機関との情報交換・共有の中で確認している。	標準化されたツールの使用が少ない。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50%	50%		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		こどもの様子や気付いた点について話し合い、共有している。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		年2回の保護者との懇談や、関係機関との会議の中で確認し見直しを行っている。		
関係機関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		乳幼児健診等への職員の参加、こども園や小学校等との情報交換などを通して連携を図っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		就学時には小学校等との間で引き継ぎを行い、情報共有と相互理解を図っている。	

や 保 護 者 と の 連 携		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%		専門支援事業や地域療育支援を活用することで連携を図り、支援の質向上のために助言を受けている。	
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	50%	50%		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		その日の様子について、連絡帳や口頭で保護者に伝えるようにしている。保護者からも家庭での様子を聞くことができている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%		個別の相談を受けることはあるが、事業所としてプログラムの実施には至っていない。
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		こどもや保護者の意向を踏まえて計画を作成し、内容を確認していただくようにしている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%		計画の内容を確認していただいた上で、同意を得るようにしている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	50%	50%		参加者減少により保護者や交流の場の設定がなくなったが、保護者同士の情報交換等の機会はあった方がよいと考えられる。適切な方法を検討していきたい。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		月一回程度通信を発行し、情報発信に努めている。	事業所としての発行であり、保育所等訪問に特化した内容ではない。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%		その日の様子について、連絡帳や口頭で保護者に伝えるようにしている	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
非 常 時 等 の 対 応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%			
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	50%	50%	該当するお子さんがいない	